



アドビ、AI 機能のイノベーションにより Adobe Creative Cloud および Adobe Express ユーザーの 創造性と効率性を最大化

- Adobe Creative Cloud に革新的な AI 機能を追加
- Adobe Express に AI を搭載し、アドビの代表的なクリエイティブツールである Adobe Photoshop や Adobe Illustrator の機能を利用可能に
- 次世代の Generative AI 技術への投資に関するビジョンを発表

※当資料は、2022 年 10 月 18 日（米国太平洋時間）に米国本社から発表された[プレスリリース](#)の抄訳です。

【2022 年 10 月 18 日】

米国カリフォルニア州ロサンゼルス発：アドビ（Nasdaq:ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ）は本日、世界最大のクリエイティブの祭典 [Adobe MAX](#) において、創造性と精度を高めるパワフルな新しい AI 機能を発表しました。この新しい AI 機能は [Adobe Creative Cloud](#) の各種アプリ、ならびに誰でもプロ品質のコンテンツを素早く作成できるオールインワンツールの [Adobe Express](#) で利用できます。さらに、「コンテンツ認証イニシアティブ（CAI）」を活用し、Generative AI の使用における透明性を確保することで、クリエイターを支援する取り組みを[発表](#)しました。

アドビのデジタルメディア担当 CTO のイーライ グリーンフィールド（Ely Greenfield）は次のように述べています。「クリエイティビティを実現するために AI を構築する私たちのアプローチは、クリエイターに理解され、愛される製品にインテリジェンスを注ぎ込み、強化することです。Adobe Express と Creative Cloud の新しい AI 搭載機能により、誰もが創造性を発揮し、創作により多くの時間を費やし、基本的で反復的なタスクに費やす時間を減らすことができます。」

すでに何百万人もの Adobe Creative Cloud ユーザーが、アドビの人工知能（AI）と機械学習のプラットフォームである [Adobe Sensei](#) の AI 機能を利用して、複雑な作業や反復作業を自動化しています。アドビの最新のイノベーションにより、Adobe Creative Cloud の人気アプリ全体で以下のような AI の活用が大幅に増加します。

- 「**写真を復元**」（ベータ版）：機械学習により、古い写真の傷や微細な欠点をインテリジェントに除去し、複雑な作業の時間を大幅に短縮する新しい [Adobe Photoshop](#) のニューラルフィルター
- 「**人物を選択**」：写真内の人物を自動検出してマスクを作成する [Adobe Lightroom](#) の新機能です。人物全体だけでなく、人物の顔や体の皮膚、眉毛、白目と黒目、唇、歯、口、髪といったパーツを特定してマスクを作成
- 「**クイックアクション**」：Adobe Express の新しい AI 機能であるクイックアクション機能は、SNS へ簡単に共有できるよう動画や画像をリサイズしたり、被写体を際立たせるカラーパレットを見つけたり、2 万 2 千種類以上の Adobe Fonts から最適な書体を探したりする際に役立ちます

本日発表した、Adobe Creative Cloud と Adobe Express に搭載する新たな AI イノベーションをご紹介します。

Adobe Photoshop :

- **選択機能の向上**：ワンクリックで複雑なオブジェクトのホバーリング、検出、詳細選択や、空、前景、被写体、髪の毛などの要素を、詳細なエッジを維持しながら、より高品質で正確に選択が可能に
- **ワンクリックで削除と塗りつぶし**：画像内のオブジェクトを選択して削除し、空いた部分を「コンテンツに応じた塗りつぶし」機能で補完する操作を、ワンクリックで実行

- **背景の削除 (iPad 版)** : 主要な被写体を背景からすばやく分離することで、作業時間を短縮します。人物、動物、乗り物、おもちゃなど、画像の中で最も目立つ被写体をワンクリックで選択し、簡単に背景を除去することが可能に

Adobe Express :

- **背景の削除** : AI を使って写真の主要な被写体を検出して切り抜き、背景にさまざまな場所にある任意のデザインを選んで配置
- **おすすめテンプレートの提案** : プロがデザインした何千種類もののテンプレートを使って、ソーシャルメディアコンテンツやロゴの制作などの制作をすぐに始めることができるテンプレート機能は多くの人に活用されています。コンテンツに応じて提案するアドビの AI は、プロジェクトのコンテンツの内容を認識し、それに適したテンプレートを提示します
- **おすすめのフォントを提案** : AI がプロジェクトのコンテンツ内容を理解して、2 万種類以上の Adobe Fonts コレクションの中から、デザインの中でテキストを強調または融合させる適切なフォントを識別し、提示します。現在デスクトップ版で提供されているおすすめのフォントを提案する機能は、近日中にモバイルデバイスにも提供される予定です
- **画像の切り抜きの精度向上** : 新たにモバイルデバイスでも使用できるようになったこの機能は、選択された画像パーツのエッジの精緻化に AI を活用しており、不要な要素を取り除いて画像を完成させることが可能に

Adobe Lightroom :

- **マスキング選択の強化** : 精密な選択エリアの調整をより迅速かつ簡単に行う方法を追加
- **オブジェクトの選択** : 写真内のオブジェクトの周囲を手書きの線で囲む、または選択ボックスをオブジェクトの上にドラッグするなど、さまざまな方法でオブジェクトを

選択することができ、Adobe Lightroom に搭載された AI 機能が自動的に選択範囲を絞り込みます

- **アダプティブプリセット**：シングルクリックまたはタップするだけで、ポートレート全体をすばやく補正したり、目の強調、歯のホワイトニング、眉毛を黒くするなどのプリセットを使って特定の箇所を強調したりできる、写真に適した補正機能です
- **コンテンツに応じた削除**：補正機能を強化し、犬のリードを取り除くなど、画像に強力な編集を加えることができます。写真内の不要な要素を削除し、素早く正確な調整を行い、ワンクリックでより魅力的なビジュアルに仕上げることが可能に

Adobe Premiere Pro と Adobe After Effects :

- **Adobe Premier Pro の自動カラー補正とリミックス**：自動カラー補正は高性能の色調整を適用して色補正のワークフローを高速化し、リミックスは選択したビデオクリップに合わせて音楽を自動的にリタイミングします
- **Adobe After Effects のシーン編集検出機能**：AI 機能を利用して編集中のビデオクリップのシーン変更を自動的に検出し、シーンを個別のレイヤーに変換したり、編集ポイントにマーカーを作成して、プロジェクトのセットアップを迅速に行います

Adobe Substance :

- **Adobe Substance 3D の AI 機能強化**：Adobe Substance 3D Capture の既存の 3D 素材ワークフローに基づく AI 機能によって、ライブカメラまたは指定された画像から写実的な 3D テクスチャを作成したり、インテリジェントに強化したりすることができ、あらゆる物理的な場所に基づいたプロ品質の 3D コンテンツを制作できます。Adobe Substance 3D のユーザーは現実の世界からのコンセプト作りに留まらず、実際の物理的な環境をプロダクションアセットに転換することもできます

AI に対するアドビの責任

アドビは、人間の創造性を代替するのではなく増幅するための AI イノベーションの提供で世界をリードし、アドビが開発する世界最高峰のクリエイティブツールにその成果を継続的に投入してきました。本日発表した AI 機能によるイノベーションはすべて、「説明責任（アカウ

ンタビリティ)」、「責任」、「透明性」というアドビの AI 倫理原則を遵守して開発されています。これらのイノベーションは、新機能の開発初期段階からテスト、そして提供までのすべてのステージで、アドビが AI 倫理と包括性を最重要視していることを示すものです。

アドビは、オンラインでの信頼性と透明性を高めるというコミットメントに基づき、クリエイターの帰属証明能力をサポートするためにコンテンツ認証イニシアティブの技術をツールに取り入れ、クリエイターが自分のスタイルと作品をコントロールすることをサポートするための研究に投資することで、クリエイター中心の Generative AI 提供の開発アプローチを本日公開しました。

アドビが主導するコンテンツ認証イニシアチブには 800 以上のパートナー企業・団体が参加し、オンラインコンテンツの信頼性を高めるために活動しています。コンテンツ認証イニシアチブが提供するソリューションは来歴証明技術に基づいて、デジタルコンテンツの制作開始から編集履歴の記録と開示によって情報の透明性を確保し、クリエイターが作品に帰属証明を添付することを可能にします。

■「アドビ」について

アドビは、「世界を動かすデジタル体験を」をミッションとして、3つのクラウドソリューションで、優れた顧客体験を提供できるよう企業・個人のお客様を支援しています。[Creative Cloud](#) は、写真、デザイン、ビデオ、web、UX などのための 20 以上のデスクトップアプリやモバイルアプリ、サービスを提供しています。[Document Cloud](#) では、デジタル文書の作成、編集、共有、スキャン、署名が簡単にでき、デバイスに関わらず文書のやり取りと共同作業が安全に行えます。[Experience Cloud](#) は、コンテンツ管理、パーソナライゼーション、データ分析、コマースに対し、顧客ロイヤルティおよび企業の長期的な成功を推進する優れた顧客体験の提供を支援しています。これら製品、サービスの多くで、アドビの人工知能 (AI) と機械学習のプラットフォームである [Adobe Sensei](#) を活用しています。

アドビ株式会社は米 Adobe Inc.の日本法人です。日本市場においては、人々の創造性を解放するデジタルトランスフォーメーションを推進するため、「心、おどる、デジタル」というビジョンのもと、心にひびく、社会がつながる、幸せなデジタル社会の実現を目指します。

アドビに関する詳細な情報は、web サイト (<https://www.adobe.com/jp/about-adobe.html>) をご覧ください。

###

© 2022 Adobe. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.